

令和 7 年度 事業計画

公益財団法人 滋賀県国際協会

1 基本方針

世界のグローバル化、ボーダレス化が進展する中であって、現在、SDGs に代表されるように、環境や貧困、多様性の尊重など、地球規模の課題に県民一人ひとりが向き合う姿勢が求められている。

当協会では、令和3年度から5年間の第3期中期計画のテーマとして「共感から実践へ」を掲げた。世界とのつながりを意識し、持続可能で、多様性と包摂性のある豊かさを実感できる社会の実現を目指し、行政、地域、組織、企業、個人等が協働し、多文化共生や国際理解を深め活躍できる場づくりやネットワークづくり、人材育成を行い、それぞれの実践につなげるような展開へと広げる。そのためのツールの一つとして、ポストコロナ時代におけるICTの活用も進めていく。

今年度は、県内における「国際感覚に優れた人づくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、民間団体の活動促進」を推進するため、地域国際化協会として適切な役割を果たすことができるよう、広域的、専門的な課題解決に向けて諸事業に取り組んでいく。

さらに、令和3年度に策定した第3期中期計画が最終年度を迎えることから、5年間の評価を行い、滋賀県が定める「滋賀県基本構想」や「滋賀県多文化共生推進プラン（第3次改定版）」を踏まえ、今後、当協会に求められる使命、役割が果たせるよう、第4期中期計画の策定を行う。

2 事業計画

(1) 地域での国際教育の推進

地域にグローバルかつ多文化共生マインドを広げるためのオリジナル教材の制作を目指し、検討会やフィールドワークを実施する。また、子どもを含む、すべての地域住民が、地球規模の課題や地域課題の解決に向けた取組を始めることができるように、ファシリテーター（進行役）の養成やオリジナル国際教育教材の研究、普及啓発を行い、当協会がコーディネーター役として、国際教育の普及、促進に努める。

(2) 国際交流の推進

ア 姉妹友好州省および友好地域との交流

姉妹友好州省やその他友好地域との交流を促進するため、使節団等の派遣・受入を行う。

イ ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

ミシガン州立大学連合日本センターの施設管理および運営の推進業務を滋賀県から受託し、ミシガン州立大学連合日本センターの円滑なプログラム推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努める。

ウ 国際交流・協力ライブチャンネルの開催

滋賀県の姉妹友好州省やJICA海外協力隊員等と当協会をオンラインでつなぎ、身近に国際交流を体感できる機会を提供し、国際交流、国際協力の裾野を広げる。

(3) 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応する。また、海外協力隊員等と当協会をオンラインでつなぎ、ライブ配信により身近に国際協力

の現場を体感できる機会を提供するライブチャンネルの開催により、国際協力の裾野を広げる。

(4) 多文化共生の地域づくり

ア 外国人県民等への支援

外国人県民等のための一元的相談窓口として運営する「しが外国人相談センター」において、外国人県民等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行う。ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語およびベトナム語を含む12言語以上に対応する。滋賀弁護士会との連携により、法律相談を実施する。併せて、各種情報を提供するため、外国人向け情報紙を発行する。

令和6年度に引き続き、滋賀県や関係団体との連携により、滋賀県に避難されてきたウクライナ人への支援を実施する。

また、進路支援事業では、中学校卒業後の進路に関する情報を得る機会を子どもと保護者に提供する場として、「進路ガイダンス」を開催する。

イ 留学生への支援

県内の短期大学、大学および大学院に在籍する私費留学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、かつ学業成績の優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、生活の安定と学習活動を奨励する。

ウ 災害時の外国人県民等支援

滋賀県と締結した「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」に基づき、大規模災害に備え、県および市町と連携した支援体制づくりを進める。また、大規模災害発生時に、当協会事業の運営および管理を的確かつ円滑に実施するため、BCP（事業継続計画）の検証を所内訓練を通して行う。

エ 多文化共生によるまちづくり

多文化共生に関する情報提供および相談対応、県内各地で実施される多文化共生事業に対して協力や支援を行う。

(5) 情報の収集および提供

県内の国際交流、国際協力に関する情報誌を発行するとともに、ホームページやFacebook、国際情報サロンを活用した情報発信を行う。

(6) 海外渡航の支援

海外の安全情報や渡航に関する情報等を県民に提供する。

(7) ボランティア活動の促進

ア 滋賀県国際協会ボランティア“S I Aボランティア”の登録および活動促進

国際交流、国際協力および多文化共生の地域づくりに関するボランティアの活動を促進する。

イ 災害時外国人サポーターの登録および活動促進

災害時通訳等の外国人サポーターの登録者の拡大および訓練等への参加を促し、支援人材の育成を行う。

(8) 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

地域に根ざした国際交流を推進するため、県民の国際交流ボランティアへの参画を促進し、滋賀県国際交流推進協議会事業を通して市民活動団体とのネットワーク強化に努める。

(9) 基盤整備

第3期中期計画が最終年を迎えることから、5年間の評価を行い、新たな中期計画の策定を行う。

収 支 予 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経 常 増 減 の 部				
(1) 経 常 収 益				
基本財産運用益	3,390	3,354	36	
特定資産運用益	2,351	2,344	7	
受取会費	2,000	2,000	—	
事業収益	6,821	6,570	251	
受取補助金等	68,006	67,880	126	
受取負担金	1,210	1,210	—	
受取受託金	46,922	46,275	647	
受取寄付金	280	280	—	
雑収益	150	103	47	
経常収益計	131,130	130,016	1,114	
(2) 経 常 費 用				
事業費	123,555	122,363	1,192	
管理費	7,712	8,154	△ 442	
経常費用計	131,267	130,517	750	
(うち人件費)	62,622	61,487	1,135	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 137	△ 501	364	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	△ 137	△ 501	364	
当期一般正味財産増減額	△ 137	△ 501	364	
一般正味財産期首残高	13,438	13,939	△ 501	
一般正味財産期末残高	13,301	13,438	△ 137	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	3,218	3,182	36	
特定資産運用益	2,517	2,510	7	
一般正味財産への振替額	△ 5,741	△ 5,698	△ 43	
当期指定正味財産増減額	△ 6	△ 6	—	
指定正味財産期首残高	721,917	721,923	△ 6	
指定正味財産期末残高	721,911	721,917	△ 6	
III 正味財産期末残高	735,212	735,355	△ 143	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	2,993	—	397	—	3,390
特定資産運用益	2,351	—	—	—	2,351
受取会費	1,000	—	1,000	—	2,000
事業収益	90	6,731	—	—	6,821
受取補助金等	61,733	258	6,015	—	68,006
受取負担金	1,060	—	150	—	1,210
受取受託金	46,922	—	—	—	46,922
受取寄付金	280	—	—	—	280
雑収益	140	5	5	—	150
経常収益計	116,569	6,994	7,567	—	131,130
(2) 経 常 費 用					
事業費	122,153	1,402	—	—	123,555
管理費	—	—	7,712	—	7,712
経常費用計	122,153	1,402	7,712	—	131,267
(うち人件費)	56,537	929	5,156	—	62,622
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 5,584	5,592	△ 145	—	△ 137
評 価 損 益 等 計	—	—	—	—	—
当 期 経 常 増 減 額	△ 5,584	5,592	△ 145	—	△ 137
他 会 計 振 替 額	5,259	△ 5,259	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 325	333	△ 145	—	△ 137
一般正味財産期首残高	—	8,948	4,490	—	13,438
一般正味財産期末残高	△ 325	9,281	4,345	—	13,301
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,841	—	377	—	3,218
特定資産運用益	2,517	—	—	—	2,517
一般正味財産への振替額	△ 5,344	—	△ 397	—	△ 5,741
当期指定正味財産増減額	14	—	△ 20	—	△ 6
指定正味財産期首残高	671,382	—	50,535	—	721,917
指定正味財産期末残高	671,396	—	50,515	—	721,911
III 正味財産期末残高	671,071	9,281	54,860	—	735,212

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和6年度事業報告

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。令和6年度は、第3期中期計画に基づき事業を行った。

令和6年度はコロナ禍を経て、6年ぶりにミシガン州友好親善使節団の派遣を再開する等、姉妹友好州省等との交流事業に取り組んだほか、次世代人材育成事業連続セミナーをはじめ、国際教育研修、進路ガイダンス、防災啓発事業なども計画どおり実施した。

また、ウクライナ避難民の滋賀県での生活のサポートを行う等、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

1 地域での国際教育の推進

- (1) 国際教育研究会「ぐろーかる ねっと しが Shiga」の開催 研究会議 12回 参加者 延べ 150人
- (2) 国際教育教材体験フェアの開催 8月2日 大津市 参加者 46人
- (3) 次世代人材育成事業「多文化共生×SDGs×開発教育」の実施
7月21日、8月6日、9月28日、10月19日、11月16日、12月14日他、オプション企画3回
大津市他 参加者 21人
- (4) 国際教育ファシリテーター養成講座の開催 1月11日 大津市 参加者 27人
- (5) 国際教育オリジナル教材の貸出および販売
ア 「ブラジルボックス」の貸出8件
イ 「非識字体験ゲーム」の販売50件
ウ 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」の販売23件
エ 「わたしん家の食事から カードゲーム版」の貸出1件、販売23件
- (6) 国際教育研修等への講師派遣 31件、延べ57人 参加者 3,459人

2 国際交流の推進

- (1) 姉妹友好州省および友好地域との交流
ア ミシガン州友好親善使節団の派遣 9月5日～12日（うちホームステイ4泊5日）派遣人員 49人
イ ブラジル・リオグランデドスール州洪水被害支援金の募集 募金総額 1,133,588円
- (2) ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営
ア 施設の維持管理
イ ミシガン州立大学連合日本センター運営の支援
ア ミシガン州からの留学生を対象とした関連プログラム（日本語・日本文化講座）の運営支援
イ 県民向け英語プログラムの運営支援（近江八幡教室、彦根教室、子ども英語教室等）
ウ 地域との交流プログラムの実施
エ その他プログラム（国内留学プログラム等）の運営支援
- (3) 国際交流・協力ライブチャンネルの開催 10月5日、3月2日 参加者 延べ 46人

3 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力ライブチャンネルを開催するとともに、国際協力に関する情報発信や相談に対応した。

4 多文化共生の地域づくり

(1) 外国人県民等への支援

ア しが外国人相談センターの設置 月曜日～金曜日 10:00～17:00
対応言語：ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語を含む12言語以上 相談件数 1,274件

イ 外国人のための手づくり情報紙「みみタロウ」の発行 年4回 10言語 20,000部/回

ウ 相談員研修会・連絡会議の開催 1月24日、3月11日 大津市 参加者 延べ 62人

エ 法律相談 相談件数 9件

オ 在留資格出張相談会の開催 10月27日 近江八幡市 相談件数 7件

カ しがウクライナ避難民応援支援金の募集および避難民への支援

(ア) しがウクライナ避難民応援支援金の募集 募金総額 16,853,863円（3月31日現在）

(イ) しがウクライナ避難民への支援 受入状況 13組19人（3月31日現在）

生活支援金等支給総額 15,907,368円（3月31日現在）

キ 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

(ア) 子どもへの日本語指導者養成講座 8月22日 大津市 参加者 41人

(イ) 進路ガイダンス 10月27日 近江八幡市 参加者 33人

ク 日本語ボランティア交流会の開催（共催：びわこ日本語ネットワーク）

2月24日 彦根市 参加者 23人

ケ 多文化共生に関する研修等への講師派遣等 14件 参加者 1,746人

(2) 留学生への支援

留学生への奨学金の支給 支給人員 10人 支給額 月額20,000円/人

(3) 災害時の外国人県民等支援

ア 災害時外国人サポーター養成講座（共催：滋賀県、滋賀県国際交流推進協議会）

2月21日 大津市 参加者 32人

イ 近畿地域国際化協会連絡協議会災害時外国人支援研究会への参加 4回

ウ 消防職員対象の研修への講師派遣 7月11日、10月25日 東近江市 参加者 延べ 86人

(4) 多文化共生によるまちづくり

多文化共生に関する情報提供およびアドバイス等 相談件数 115件

5 情報の収集および提供

(1) 国際交流・協力情報誌「S I A しーあ」の発行 年3回 日本語 2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 年12回

(3) ホームページおよびFacebookによる情報提供

(4) 国際情報サロンによる情報提供

6 海外渡航の支援

(1) 渡航相談、海外情報の提供

(2) パスポート用写真撮影

撮影件数 11,653件

7 ボランティア活動の促進

(1) 滋賀県国際協会ボランティア“S I Aボランティア”の登録および活動促進
(通訳、翻訳、ホームビジット、ホームステイ、国際交流支援)

登録者 延べ 243人

(2) 災害時外国人サポーターの登録および活動促進

登録者 146人

8 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

(1) 滋賀県国際交流推進協議会（59団体加盟）の開催

全体会議等 1 回

研修会 2 回

(2) 国際交流活動推進セミナーの開催

2 月 21 日 大津市

参加者

32人

9 基盤整備

B C P（事業継続計画）の検証を行った。

2 月 18 日

正味財産増減計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,354,371	3,352,666	1,705
特定資産運用益	2,343,993	2,342,137	1,856
受取会費	1,755,000	1,849,000	△ 94,000
事業収益	8,822,454	5,065,404	3,757,050
受取補助金等	68,743,603	68,017,611	725,992
受取負担金	1,189,300	2,716,498	△ 1,527,198
受取受託金	45,205,176	43,083,923	2,121,253
受取寄付金	1,452,388	345,391	1,106,997
雑収益	802,606	273,209	529,397
経常収益計	133,668,891	127,045,839	6,623,052
(2) 経常費用			
事業費	120,562,587	122,823,610	△ 2,261,023
管理費	8,195,248	7,955,108	240,140
経常費用計	128,757,835	130,778,718	△ 2,020,883
(うち人件費)	62,472,717	60,676,441	1,796,276
評価損益等調整前当期経常増減額	4,911,056	△ 3,732,879	8,643,935
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	4,911,056	△ 3,732,879	8,643,935
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	4	—	4
経常外費用計	4	—	4
当期経常外増減額	△ 4	—	△ 4
税引前当期一般正味財産増減額	4,911,052	△ 3,732,879	8,643,931
法人税、住民税及び事業税	98,600	—	98,600
当期一般正味財産増減額	4,812,452	△ 3,732,879	8,545,331
一般正味財産期首残高	34,030,124	37,763,003	△ 3,732,879
一般正味財産期末残高	38,842,576	34,030,124	4,812,452
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	3,181,937	3,180,232	1,705
特定資産運用益	2,510,593	2,508,737	1,856
一般正味財産への振替額	△ 5,698,364	△ 5,694,803	△ 3,561
当期指定正味財産増減額	△ 5,834	△ 5,834	—
指定正味財産期首残高	722,102,442	722,108,276	△ 5,834
指定正味財産期末残高	722,096,608	722,102,442	△ 5,834
III 正味財産期末残高	760,939,184	756,132,566	4,806,618

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	2,961,909	—	392,462	—	3,354,371
特定資産運用益	2,343,993	—	—	—	2,343,993
受取会費	877,500	—	877,500	—	1,755,000
事業収益	150,940	8,671,514	—	—	8,822,454
受取補助金等	61,568,887	427,543	6,747,173	—	68,743,603
受取負担金	39,300	1,000,000	150,000	—	1,189,300
受取受託金	45,205,176	—	—	—	45,205,176
受取寄付金	1,452,388	—	—	—	1,452,388
雑収益	705,365	4,733	92,508	—	802,606
経常収益計	115,305,458	10,103,790	8,259,643	—	133,668,891
(2) 経 常 費 用					
事業費	118,174,306	2,388,281	—	—	120,562,587
管理費	—	—	8,195,248	—	8,195,248
経常費用計	118,174,306	2,388,281	8,195,248	—	128,757,835
(うち人件費)	54,730,665	1,684,367	6,057,685	—	62,472,717
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 2,868,848	7,715,509	64,395	—	4,911,056
評 価 損 益 等 計	—	—	—	—	—
当 期 経 常 増 減 額	△ 2,868,848	7,715,509	64,395	—	4,911,056
2 経 常 外 増 減 の 部					
(1) 経 常 外 収 益					
経 常 外 収 益 計	—	—	—	—	—
(2) 経 常 外 費 用					
什器備品除却損	4	—	—	—	4
経 常 外 費 用 計	4	—	—	—	4
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 4	—	—	—	△ 4
他会計振替前当期一般正 味財産増減額	△ 2,868,852	7,715,509	64,395	—	4,911,052
他 会 計 振 替 額	3,776,583	△3,776,583	—	—	—
税引前当期一般正味財産 増減額	907,731	3,938,926	64,395	—	4,911,052
法人税、住民税及び事業税	—	98,600	—	—	98,600
当期一般正味財産増減額	907,731	3,840,326	64,395	—	4,812,452
一般正味財産期首残高	18,638,651	10,384,211	5,007,262	—	34,030,124
一般正味財産期末残高	19,546,382	14,224,537	5,071,657	—	38,842,576
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,809,650	—	372,287	—	3,181,937
特定資産運用益	2,510,593	—	—	—	2,510,593
一般正味財産への振替額	△ 5,305,902	—	△ 392,462	—	△ 5,698,364
当期指定正味財産増減額	14,341	—	△ 20,175	—	△ 5,834
指定正味財産期首残高	672,768,793	—	49,333,649	—	722,102,442
指定正味財産期末残高	672,783,134	—	49,313,474	—	722,096,608

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
Ⅲ 正味財産期末残高	692,329,516	14,224,537	54,385,131	—	760,939,184

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	34,586,853	32,034,607	2,552,246
未収金	1,871,455	1,391,822	479,633
預託金	11,440	11,440	—
立替金	289,585	261,168	28,417
流動資産合計	36,759,333	33,699,037	3,060,296
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
普通預金	3,507,263	3,507,263	—
定期預金	27,506,320	27,506,320	—
投資有価証券	393,976,363	394,148,797	△ 172,434
基本財産合計	424,989,946	425,162,380	△ 172,434
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	41,286,868	39,035,809	2,251,059
減価償却引当資産	2,978,344	3,779,813	△ 801,469
びわこ奨学金基金	300,613,925	300,447,325	166,600
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	5,178,000	—
協会50周年準備資金積立資産	1,500,000	1,250,000	250,000
その他受取寄付金(研修)	308,939	202,993	105,946
特定資産合計	351,866,076	349,893,940	1,972,136
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建物附属設備	3	67,483	△ 67,480
車両運搬具	1	1	—
什器備品	836,007	34,542	801,465
その他固定資産合計	836,011	102,026	733,985
固定資産合計	777,692,033	775,158,346	2,533,687
資産合計	814,451,366	808,857,383	5,593,983
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	11,953,660	12,980,871	△ 1,027,211
預り金	271,654	708,137	△ 436,483
流動負債合計	12,225,314	13,689,008	△ 1,463,694
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	41,286,868	39,035,809	2,251,059
固定負債合計	41,286,868	39,035,809	2,251,059
負債合計	53,512,182	52,724,817	787,365
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
寄付金	722,096,608	722,102,442	△ 5,834
指定正味財産合計	722,096,608	722,102,442	△ 5,834
(うち基本財産への充当額)	(421,482,683)	(421,655,117)	(△ 172,434)
(うち特定資産への充当額)	(300,613,925)	(300,447,325)	(166,600)
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	38,842,576	34,030,124	4,812,452
(うち特定資産への充当額)	(3,507,263)	(3,507,263)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(9,965,283)	(10,410,806)	(△ 445,523)
正味財産合計	760,939,184	756,132,566	4,806,618
負債及び正味財産合計	814,451,366	808,857,383	5,593,983

貸借対照表内訳表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 資 産 の 部					
1 流 動 資 産					
現金預金	16,850,268	13,540,913	4,195,672	—	34,586,853
未収金	1,076,478	794,977	—	—	1,871,455
預託金	11,440	—	—	—	11,440
立替金	289,585	—	—	—	289,585
流動資産合計	18,227,771	14,335,890	4,195,672	—	36,759,333
2 固 定 資 産					
(1) 基 本 財 産					
普通預金	3,096,913	—	410,350	—	3,507,263
定期預金	24,288,080	—	3,218,240	—	27,506,320
投資有価証券	347,881,129	—	46,095,234	—	393,976,363
基本財産合計	375,266,122	—	49,723,824	—	424,989,946
(2) 特 定 資 産					
退職給付引当資産	35,999,842	—	5,287,026	—	41,286,868
減価償却引当資産	2,629,878	—	348,466	—	2,978,344
びわこ奨学金基金	300,613,925	—	—	—	300,613,925
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	—	—	—	5,178,000
協会50周年準備資金積立資産	1,500,000	—	—	—	1,500,000
その他受取寄付金(研修)	308,939	—	—	—	308,939
特定資産合計	346,230,584	—	5,635,492	—	351,866,076
(3) そ の 他 固 定 資 産					
建物附属設備	3	—	—	—	3
車両運搬具	1	—	—	—	1
什器備品	601,925	100,321	133,761	—	836,007
その他固定資産合計	601,929	100,321	133,761	—	836,011
固定資産合計	722,098,635	100,321	55,493,077	—	777,692,033
資産合計	740,326,406	14,436,211	59,688,749	—	814,451,366
II 負 債 の 部					
1 流 動 負 債					
未払金	11,725,394	211,674	16,592	—	11,953,660
預り金	271,654	—	—	—	271,654
流動負債合計	11,997,048	211,674	16,592	—	12,225,314
2 固 定 負 債					
退職給付引当金	35,999,842	—	5,287,026	—	41,286,868
固定負債合計	35,999,842	—	5,287,026	—	41,286,868
負債合計	47,996,890	211,674	5,303,618	—	53,512,182
III 正味財産の部					
1 指 定 正 味 財 産					
寄付金	672,783,134	—	49,313,474	—	722,096,608
指定正味財産合計	672,783,134	—	49,313,474	—	722,096,608
(うち基本財産への充当額)	(372,169,209)	(—)	(49,313,474)	(—)	(421,482,683)
(うち特定資産への充当額)	(300,613,925)	(—)	(—)	(—)	(300,613,925)
2 一 般 正 味 財 産					
(うち基本財産への充当額)	19,546,382	14,224,537	5,071,657	—	38,842,576
(うち特定資産への充当額)	(3,096,913)	(—)	(410,350)	(—)	(3,507,263)
(うち特定資産への充当額)	(9,616,817)	(—)	(348,466)	(—)	(9,965,283)
正味財産合計	692,329,516	14,224,537	54,385,131	—	760,939,184
負債及び正味財産合計	740,326,406	14,436,211	59,688,749	—	814,451,366